

令和 8 年市政報告会内容報告（各地区公民館での意見交換内容の概要）

地区名	日時	内容
学文路	8 月 5 日(水) 19 時～	○外国人との共生についてどう考えるか。また、地域運営組織や区長制度の見直しについて期待している 【総合政策部長】 現在、市には 730 人程度の外国人がおり、年々増加しています。その中で、ゴミ捨てや地域コミュニティでも問題が聞こえ始めています。市としては、誘致した企業も含めて、外国人向けに日本語教室を実施しており、外国人の方にできるだけ地域との交流や地元の文化を学んでもらえる機会作りを進めています。 区自治会を存続させるために、区自治会の業務をどれだけ IT 等を活用して負担軽減できるかを含めて検討しています。自治会のあり方も非常に重要ですが、まずはできるだけ顔が見える関係を作ることを大切にしていきたいと考えています。 そのうえで地域運営組織では、自治会や自主防災会などがそれぞれで個々に活動するのではなくて、地域の中でもそれぞれの分野を超えて顔の見える関係をつくり、お互い助け合えるような形を取ればと考えています。 【市長】 労働者の確保などからでも外国人との共生は必要ですので、国の動向なども見ながら、いずれは外国人の窓口をつくることも検討の必要性を感じています。 ○社会教育団体の施設使用料について。金額の引き上げについて、当初の予定から期間を 2 年延長した理由は何か 【総務部長】 使用料の検討にあたり現在の使用状況などを調査する際、期間がコロナ禍と重なってしまったため、コロナ明けからの期間で再度調査することとし、使用料変更の時期を延長しました。 【市長】 高齢化率も上がってくる中、使用料についても検討します。 ○第 2 層協議体などで移動支援など行なっているが、それ以外にも支援が必要であれば市も支援を検討してもらえるのか 【健康福祉部長】 第 2 層協議体では、地域の皆様の他に市の担当者も入って、一緒に課題解決に向けて検討を進めています。その中で検討された様々な取り組みについて、市としてどういう支援ができるのか考えていきたいと思っています。

		【市長】 第2層協議体で、やりたいことを決めてもらって、市として予算について検討していけたらと思っています。それぞれの地域でご提案いただきたい。 ○AI やデジタルを使ったスマート農業について、市の現状は。また、デジタル教育についての市はどう考えているか。デジタルを進める場合、希望しない家庭への対応は 【経済推進部長】 市では主にドローンを活用した田の消毒などの事例があります。当然高齢化社会の中で、労働力ってのは減ってくるので、ドローン購入などに使える国の中山間補助金の周知などを進めていきたいと考えています。 【教育部長】 市教育委員会は紙の教科書とデジタル教材を併用するハイブリッド式です。それぞれの長所を活かせる方法で活用していきます。 ○高野街道をPR し、居住してもらいたい 【経済推進部長】 地元の方の郷土愛や取組というのがまずは出発点だと思うので、それを市がサポートして一緒に盛り上げるという流れを支援できれば。 【市長】 地域の活性化事業などは、まずその地域の人が活動してくれてこそできる取り組みだと思うので、その点をご検討いただけたらと思います。また空き家については、個人の所有物となるため、市としては空家バンクに登録していただければ、古民家の活用などで斡旋をしていきたいと思っています。 【建設部長】 空家に関しては市で空家についての出前講座も行なっているので、地域でも利用検討し区長さんより申し出てもらえれば。 ○加賀根池の危険性について 【危機管理監】 加賀根池については、危機管理室で水位の観測ができる体制になっているので、危険性があつた場合、建設部と連携しながら対応していきたいと考えてます。
--	--	--